

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育支援工房 秋田泉教室		公表日 令和8年2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・状況に応じて1階と2階の利用を分けている。 ・学習室と活動室を分けている。	・今後人数も増えてきているため工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・その日のプログラム内容を変更するなどして、急な人数不足に対応している。	・病欠者が居た場合、基準よりも少なくなってしまう日もあるため、余力が必要。 ・送迎の時に人数不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	・各部屋やボードにイラストで示すなど構造化を図っている。 ・一日の流れをわかりやすくホワイトボードに記載している。	・バリアフリー化が困難な為、その他の面で環境設定、配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日清掃、消毒、適宜換気を行っている。	1
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・痲痺時や切り替えが必要な場合に、別室対応することが可能になっている。	・休養する場合の寝具の準備をする必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	6	・朝礼などで共有を図り、前日の支援の仕方などについて振り返りを行っている。 ・常にミーティングを実施し、個人個人のゴール設定を決めている。	・振り返りの時間をあまりとることができていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者アンケートを回収後、改善点などについて職員で話し合っている。	・今回が初回の保護者アンケートの為、これから会議等を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・朝礼や空き時間に職員間で話し合いを行っている。 ・ミーティングで意見を出し合い、業務の見直しを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・外部評価の実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	・様々な機関の研修情報を共有している。	・研修の見直しが必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムの公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・ニーズの聞き取りと共に、全職員の意見も踏まえ個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・朝礼やケース会議などで情報共有している。 ・ミーティングで共有、今後の支援について話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・行った支援とその結果などを密に話し合っており、よりよい支援に活かしている。 ・原案を全職員が確認し、計画を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・インフォーマルなアセスメントに偏り、標準化されたツールが明確になっていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		・設定はしているが、地域支援などはあまり実践できていない。 ・地域との関わりが少ないので、今後増やしていくことを検討する。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・悩んだ際には他の職員に相談しながらプログラムを作成している。 ・プログラムに不足や相違がないか、話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・ずっと同じ指導員が支援することがないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・集団で活動する遊びや製作課題などを提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日のミーティングで共有、確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・ミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・翌日正午までには記録を完了し、保護者へ公開している。 ・日々の支援の振り返りを行いより良い支援がないか話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングの内容の共有も行き、個別支援計画の見直しについて話し合いを行っている。 ・必要に応じて効果測定を行い振り返りを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・個別支援計画に沿って支援をしているため、基本活動を組み合わせ支援を行うことが出来ている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・時間や、課題量など自分で考え取り組んでもらうようにしている。 ・お子様の気持ちを確認し、その意思を大切にしながら支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者と指導員とで参加している。 ・お子様と関わっている方々との情報共有を行い、共通認識で支援ができるよう努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・相談支援専門員との連携を軸としながら、他機関との連携を図っている。 ・必要機関と連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・送迎時に学校との情報共有を行っている。	・下校時間や利用日の確認など、ミスが怒らないようダブルチェックが必要。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・必要に応じて、相談支援事業所を介し情報共有と相互理解に努めている。	・今後行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		・まだ卒業生が居ないが、情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		・今後助言の機会など検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・地域のお子様たちとの交流の場を今後作ってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		・協議会への参加を検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時とサービス提供記録でその日の様子を伝えている。 ・LINEやシステムを利用し保護者と密に連絡を取り合っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・家族支援プログラムを随時行っている。 ・お子様の困りごとだけでなく、保護者の困りごともうかがい、必要に応じて情報提供を行っている。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に一通りお伝えしている。不明点があればその後も対応できる環境を整えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・お子さまや保護者の意思確認を行い、計画作成している。 ・定期的に面談を実施し、意向確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・面談時に読み合わせを行い、具体的な説明や支援内容を伝えている。 ・読み合わせだけでなく、分かりやすいようかみ砕いて説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・頻繁に色々な保護者様からご相談をいただいております、LINEにてやり取りする場合や、ご自宅に伺って面談なども行っている。 ・別途時間を設けて、必要なサポートを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1		・保護者会などの開催を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情があった場合には、すぐに会議を開き対応を考えている。 ・担当窓口を設置し、対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・SNSにも情報を公開したり、サービス提供記録には写真なども添付し発信している。 ・ブログやインスタグラムにて情報公開を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・鍵付き書庫にて個人情報を保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・お電話での連絡だけでなく、色々なツールを使って情報伝達を行っている。 ・必要な情報は、同じ子であっても繰り返し質問いただくことができるように環境を整えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・今後地域の方々との交流を深める機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・マニュアルを用意し、いつでも確認、対応ができるようにしている。 ・定期的に研修、訓練を実施している。	・保護者への周知の仕方について検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・定期的に訓練を実施している。 ・マニュアルを用意し、いつでも確認、対応ができるようにしている。	・利用者を含めた訓練の実施を検討していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に確認し、症状が出たときにはここに合わせて対応を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・製造ラインを確認し、提供しても大丈夫が把握してから提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・必要な研修、訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時にご説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・問題が起きたとき、原因と対策をしっかりと考え、事業所内で共有を行い再発防止に努めている。	・ヒヤリハットをまだ書いたことがなく、書式など先輩職員に聞き把握する必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・年間スケジュールを組み、定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束が必要な状況が発生する可能性があるお子様に対して、必要性を踏まえて保護者に説明を行っている。	